

国語 第1学年 よんで たしかめよう

検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：海の生き物がどのように隠れるかを説明する大事な言葉を選ぶ。名前に加え、どこに、どのように隠れるかが伝わる言葉を残し、説明に必要な部分を考える。C(1)ウの学習として、隠れ方の紹介カード。生き物の名前、隠れる場所、隠れ方を自分の言葉で書き、選んだ大事な言葉に印を付ける。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、隠れ方を説明するために重要な語や文を考えて選び出しているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。C(1)ウの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：隠れ方の紹介カードを残す。生き物の名前、隠れる場所、隠れ方を自分の言葉で書き、選んだ大事な言葉に印を付ける。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、C(1)ウに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4：難しさのある児童にはどんな支援をするか。

返し：目立つ言葉を全部選ぶ。写真から想像した内容を本文の説明と思い込む。これについて、「名前」「隠れる場所」「隠れ方」を欄にして、当たる本文を探す。長い文を読むのが難しい児童は教師と語のまとまりごとに読み、知らせたいことが書かれた所を指でたどる。〔知識及び技能〕(1)オとC(1)ウを切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「この生き物の隠れ方を知らせるには、どの言葉を残すとよいですか。名前だけで、隠れ方まで伝わりますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、C(1)ウに関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：隠れ方の紹介カードは紙に記録できる。生き物の名前、隠れる場所、隠れ方を自分の言葉で書き、選んだ大事な言葉に印を付ける。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をC(1)ウの評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。C(1)ウで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：どの言葉を選ぶか教師が指定するのか。

返し：C(1)ウに沿い、何を知らせたいかを先に確認し、そのために必要な言葉を児童が選ぶ。選んだ言葉だけで隠れ方が伝わるかを聞き手と確かめる。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「この生き物の隠れ方を知らせるには、どの言葉を残すとよいですか。名前だけで、隠れ方まで伝わりますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。C(1)ウに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

